

学校法人 松浦学園 城北高等学校

平成 29 年度 学校評価

建学の精神 『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- (1) 生活指導を基盤に、真面目が当たり前の校風をつくり、強く、美しい心をつくる教育を実践する。(あいさつ指導、心の掃除指導、論語教育の徹底)
- (2) 「わかる授業」の追求と実践を図る。授業の質を向上させるための研修と研究を積み、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ習慣」の校風をつくる教育を実践する。(研修と研究会を実施し、教材研究・授業の展開等の工夫と創造を行う)
- (3) 各学年間においての計画的かつ体系的な進路指導で、生徒の希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育を実践する。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化する。(希望塾の充実強化、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、書く習慣づくり、新聞読解力づくり)
- (4) 学校教育活動全般と学校行事の充実及び学校施設設備の更なる充実を図る。今年度本校は創立 50 年目を迎える。この記念すべき年を更なる飛躍の年にしていくため、「生徒が輝く」教育活動、学校行事を構築していく。特に 50 周年記念事業・行事を特に充実させる。また、施設設備の改善も計画的に行う。

3 H29年度 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H28
大項目	小項目					
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育を実践する	建学の精神に則り、学校教育を展開していく。目の前にいる生徒を満足させる教育活動を実践する。	2.9	出来るだけ多くの生徒に声かけを行った。生徒の話をしっかり聞くよう心掛けた。一人ひとりに応じた対応に課題があった。	2.8
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学校、学科、コースの特色、生徒一人ひとりの個性を生かした教育活動を展開する	学科・コースの特色の明確化を図る。個々の生徒の可能性を引き出し、学科・コースの実績を高める教育活動を実践していく	3	学科で他校にないものを創意工夫する。特進のカリキュラムや指導体制の向上を。特色を生かした行事、実習ができています。公務員合格者の増加が課題。学校の方向性は正しい。	2.8
	開かれた学校づくり	ホームページや学校新聞、広報誌等で情報発信し、説明責任、学校理解を図る	ホームページや学校新聞の更なる充実を図るための工夫を行い、生徒の活動、頑張りを発信する	2.8	取り組める時間確保が課題。担当者の努力が良い。城北の日常の毎日更新を。HPが良い。職員の報道意識。学校新聞作成の工夫必要。	2.7
	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携、生徒・職員による地域貢献を図る	地域、PTA間の連携を図り、各種地域活動行事、学校行事、ボランティアへの生徒・職員・保護者の積極的参加と成功を図る	3	校長を中心に形が出来つつある。地域行事、ボランティア活動に積極的に参加できた。保護者会の定期的開催。	3
	教育環境の整備	施設設備の充実及び、危険箇所等の早期発見、早期対応を図る	教室・体育館等の充実、耐震補強を進める。改善(老朽化設備の点検・修理等)を進める。	2.5	旧体のバスケットコートが旧のまま。寮の早急改修を。武道館棟の老朽化。視聴覚設備を。教室不足。図書館の充実を。	2.4
学力向上	わかる授業の実践	常に学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上を図る	研修、公開授業等で教師間の指導力の向上を図り、振り返りシート等を使い自らの授業を常に研究、改善する	2.6	担当全科目でプリントを作成しわかる授業に努めた。興味を持たせる工夫をしている。教材研究に努めた。事故の授業能力アップを図る。授業態度改善指導徹底。	2.6
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画の達成	各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、全ての生徒の学力向上を目指した授業を展開する	2.6	計画的に授業ができ、結果赤点生徒がいなかった。特進のカリキュラム再検。スポ科の学力格差の指導方法が課題。科目間時数格差課題。	2.4
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向け、家庭学習の習慣化を図り、生徒の状況を把握し、適切な学習指導を実施する	生徒の課題学習状況の把握と、授業、課外、マナトレ、一步学習の取り組み強化と成果を図る	2.6	課外授業を充実させ生徒の意見も反映させながら授業の展開ができた。マナトレ、課外は良いが、家庭学習に課題が、各教科の課題(宿題)提供工夫。授業中の雰囲気づくり	2.5
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	自ら判断し行動する生徒を育成する	生徒が自ら考え行動を促す情操教育の実施と黙想、論語教育等による心の教育を図る	2.9	落ち着いたクラス運営ができています。日々の黙想は良い。論語時間確保を。継続指導が必要。SHRIにおける論語の徹底を。	2.9
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底と生徒自らが取り組む心の掃除の徹底	登校指導、ホームルーム指導、職員間の指導の連携を図り、統一した指導で徹底を図る	2.7	自分が模範となるよう心掛け指導できた。始業・終業の挨拶徹底。服装指導が減った。掃除が不徹底で反省。自主的行動指導必要。LHR計画的に実行できた。まず職員	3
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す	問題の早期発見と素早い対応を行い、特にいじめ問題についてはアンケート調査等により実態を早期に把握し対応する	2.8	授業中の雰囲気づくりに気を配った。真剣に、明るく、楽しくが実践できた。生徒指導部の素早い対応が良い。	2.9
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす	交通安全教育を徹底する(交通講話、実技指導等)自転車、二輪車通学生については特に安全教育を強化する	2.8	バイク事故が多く指導強化を感じた。定期的な安全指導は良かった。集会等における啓発徹底	2.9
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	進路に関する計画的な指導と支援、充実を図る	学年との連携強化を図り、生徒の意識を高め、学習意欲向上や計画的学習につなげ、進路に関する意識向上を図る	2.7	将来の目標の明確化に努めた。情報提供、講演会、セミナー等良かった。進路用書類作成等課題。共有ができていない。	2.8
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.7	学習習慣の未確立化。個々に応じた進路指導の徹底を。3年になってからの取組み再検討。更なる横断的分析を。	2.5
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び職業適性結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.7	こまめな面談ができた。職業適性検査、セミナー等良かった。3年次の進路指導再検討。	2.7
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実と各種研修会への参加	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会等への積極的参加	2.9	主催者の導きで良い方向へ行っている。定期的な研修会が良かった。全職員の積極的な参加を。	2.9
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る	教育内容と指導の工夫・改善を検討し、学校全体、学年、クラスにおいて計画的に人権教育を実施する	3	違いを認める心の育成を目指した。人権だよりの活用をもっと進めたい。主催者へのサポート	2.8
特別活動	適切な学校行事の実施と充実	意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る	計画的かつ効果的な学校行事運営・内容を検討、確立し、更に充実させる	2.8	今年は行事が多かった。行事の見直しを。行事後の確認、反省会を。集団宿泊研良かった。50周年は意味があったが多忙だった	3
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動の確立	生徒会・委員会の運営、役割を整理し、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織を充実させる	2.8	生徒会に頼りすぎ。役割分担の明確化。委員会における生徒支援に課題が。	2.8
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の更なる活性化と向上を図る、	全国レベルへ向けて、人間形成の基盤となりうる部活動へ向けて、更なる活性化を図る	2.6	部活動内の問題が課題。基本的マナー、ルール指導の必要あり。毎週指導する機会を。スポ科の生徒が範となる指導を。	3
その他全体的に成果と課題		一人の職員の負担が大きくなる。魅力ある授業を全ての授業で。生徒指導全般的にルールの明確化を図る。指導の軸の共有と明確化、サポートが必要。毎回ノートを提出させた。職員間で共通理解を。50周年の行事で生徒一人ひとりに応じた指導に心掛けた。50周年記念行事と職務、業務の両立の難しさ痛感。行事ごとの振り返りを行いたい。個人としてまだまだ努力しなければならないが、城北を変えていく一人になりたい。低学力の生徒にマナトレの取組みが生きている。				

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 28
大項目	小項目					
総務部	本校教育活動を中心に情報の発信を行い、生徒募集へと繋げる	オープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる	3.3	良い取り組みができています。早めの計画を。OCでは特色良さを発揮できた。中学校訪問のやり方の再考を。生徒の公欠問題。	3.5	
		学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に発信する	3.2	工夫した情報発信ができています。ホームページの活用強化。日常投稿が少ない。突然の作業、作成が多かった。部長に頼る部分が多い。	3.3	
	適切な入学試験の実施	願書配布、入学試験、合格発表までの流れを的確に行う	3.2	マニュアル化して取り組んでいる。分担化で計画的に取り組める。	3.2	
		入学試験全般における課題の改善を図る	3	願書の様式の検討。渉外担当としての難しさ。	3.1	
	PTA活動の活性化	PTA活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.7	PTAの協力が有難い。年間を通して計画的に行われた。PTA活動の発信を。PTA行事の実施。	2.8	
	同窓会活動の活性化	同窓会活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.6	50周年行事向け結束してきた。活動の見え方を。活動の情報発信を。卒業生の保護者につながるチャンス。	2.3	
	効果的な環境美化の実施	具体的な環境美化計画、心の掃除、大掃除を実施し、より効果的かつ情操教育へと繋げる	2.9	意識を高める必要あり。担当教員の指導強化。掃除の心得の指導徹底。心の掃除不十分。クラス間格差。	2.9	
	総務部活動全体について成果と課題		情報発信は良くなっている。もっと生徒をできるだけ郊外の活動に参加させれば。生徒募集(特進)で他校にない取り組みを工夫しては。同窓会(卒業生)の学校に対する関心を高める工夫を。年間を通して、学校の特色、教育活動、生徒の活躍等効果的に発信できていた。慌ただしさ、多忙感、仕事量の偏りなど工夫改善が必要。同窓会の動機づけはできた。部内での仕事量のアンバランス、役割の偏りを改善すべき。総務部中心の生徒募集については全職員で。心の掃除全体で考えるべき。生徒公欠とうの担任へ連絡を。総務部での定期的な会議と早めの計画が大切と感じた。			
各部及び専攻科	効果的な学校行事の実施と授業時数の確保を図る	学力保障のための授業時数の確保、自習時間の減少を図る	2.7	自習の改善を。授業時数確保もできてきた。もっと十分な時数確保を。	2.8	
		目的を明確化し、より効果的かつ充実した学校行事の実施	2.8	行事の精選の必要性。科の特色ができていた。効果的だった。改善されてきた。	2.9	
		効果的かつ適切な時間割の実施	2.9	特別時間割により教科時数の偏りがある。時間割の編制良かった。単位数、曜日格差是正の必要性。	2.8	
	わかる授業の実施、基礎学力定着への取り組み強化	よりわかる授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業の実施	2.8	めあて、内容など工夫する授業者の増加。わかる授業目指し、教材研究等徹底した。自身の反省点。教科会が重要。	2.6	
		研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る	2.7	定期的な研究授業の実施により授業の工夫ができた。他校を見に行きたいが行けなかった。	2.8	
		教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図る教科会等の実施	2.4	教科会の実施で改善された。授業改善の定期的な教科会実施した。教科会を定例化した。教科会を時間に組み込めないか。	2.4	
		振り返りシートの効果的活用	2.4	自己研鑽につながった。個人的にあまりできなかった。自分の反省事項。独自のアンケートで実施。もっと活用したい。個人差が大きい。	2.3	
	職員の指導力向上、意識の向上を図り、ベクトルを揃える職員研修の充実	校外における効果的かつ計画的な職員研修会の実施	2.5	研修や会議が多い。定期的な研修で、意識の向上が図れた。積極的に参加するという意識が向上してきた。	2.5	
	多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施	生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用を行う	3	業務の煩雑さが課題。奨学金の案内、対応等適切だった。担当者しっかり担当している。	2.8	
	教務部活動全体について成果と課題		行事を減らしたいが、各部からの行事計画がコントロールできない。授業力、職員の指導力向上の研修の必要性を感じる。特進指導体制強化を。教科指導力向上の取組みを。特進会議の定例化を。専門教科と普通教科職員の連携をもっと図る。抜き打ちで振り返りシートを実施しては。特別時間割は早く見通すことができた。時間割のダブルチェック、成績チェック体制づくり。教務部長の毅然とした姿勢、言葉に気付けられることが多く育てられる職員が多い。定期考査では必ず国語はやるべき。国語表現の授業で小論文を。定期考査の内容検討改善。			
生徒指導部	基本的な生活習慣の確立	挨拶(立ち止まる、体を向けて、校門一礼等)、指導、服装指導の徹底	3	相手を見て行動する生徒がいる。さらに徹底を。継続指導を。	3.2	
		心の掃除の徹底	2.4	さらに指導の徹底を。クラス・担当者間格差が。チェック体制。	2.8	
		欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導	2.7	欠席が増えたが対応はできています。早退指導の徹底。欠席が多くなってきている現状を課題に。	2.9	
	問題行動をなくし、特別指導において自主性と規範意識の構築を図る	校則や社会的マナー、ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施	3	継続指導の必要がある。毎週の全校集会における効果的活用を。SNS等新たな問題への対応検討課題。	2.9	
		規範意識と自主性・意識向上のための特別指導の実施	3	良い指導ができています。清掃活動等良く取り組んでいる。	2.9	
	いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る	城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる	2.9	様々な教育活動で心を育てる教育を実施できた。命の授業を再度やりたい。日々の教育活動の充実。具体的指導方法の確認を。	3.1	
	生徒指導部活動全体について成果と課題		SNSの対処が課題。教科、LHRとの連携指導。しっかりと指導ができていないと思う。全体で取り組む形を。特別指導中の特別室受験は必要なのか。生徒指導部内の中でもいまいちなことがあり、改善すべきである。掃除徹底のためには職員と一緒に一生懸命取り組むべきである。生徒指導部の先生を中心とした指導で多くの生徒に規範意識が出てきた。部内会議は他の部署よりも多いため連携が取れている。提案後の様子も朝会等で知りたいた。SB出るまでは生徒指導室の常駐を。放課後不在の改善。問題があればすぐに主任、担当へ報告を行い対応した。若い生徒指導部職員ももっと前面に出てほしい。更なる挨拶、掃除指導の必要性を感じる。放課後、生徒指導室に生徒だけいる場合がある。放課後の全体の生徒指導強化を。			

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 28
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	人権教育部	豊かな人権感覚を身につけた生徒を育成する	学校全体、学年、クラスにおいて計画的かつ効果的な人権教育の実施	2.9	クラスでの人権学習が有意義だった。特設2時間欲しい。学年ごともしっかり取り組めた。	2.8
		職員の人権意識の高揚を図る	校内外研修会の計画的な実施と参加	3.2	高まっている。職員間に課題も。もっと実施してほしい。取り組みは良いが実践に課題。	3.1
		人権教育部活動全体について成果と課題	レポ研が課題。各研修での報告、報道を。人権意識を高める取り組みができています。人権だよりの発行、講演会、研修会等の実施により、効果的に人権教育を実施できた。教師が常に人権意識を持って、生徒と関わることが重要。確実に活動が展開されており、継続が不可欠。計画的に人権学習も職員研修も実施できた。主担者に頼りすぎている。			
	特別支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援	特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	2.8	良く取り組まれていた。共通理解を図り適切な支援ができた。担任との連携を。	3.1
		生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり	教職員への研修、情報の共有等におけるのバックアップ体制と組織の確立	2.8	支援計画実施が関係者任せにならず全員で共有し取り組むべき。	3
		特別支援部活動全体について成果と課題	生徒のバックアップ体制の強化が必要。教育相談の件数が増えてきた。親の仕事の関係で、時間設定が時間外になることも多かった。現体制ではこれ以上の生徒対応に困難がある。特別支援部以外の教員の研修参加も必要では。共通理解を図り様々な場面で適切な支援に努めた。教員間の連携、環境が必要。進路指導部とのタイアップや不登校対策、欠席者増加にも着目。部長に頼りすぎている。もっと組織として取り組めたら。			
	保健体育部	体育的活動の充実	体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図る	3	計画・実施の徹底強化。生徒が協力して取り組めた。計画を早	3.2
		保健衛生面の充実	生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図る	3	この生徒の健康状態に応じた指導、支援の大切さを感じた。思春期講演良かった。体育館に音響計を。	2.9
		保健体育部活動全体について成果と課題	性教育講演会が良かった。クラスマッチ、体力錬成行事等の見直しも必要。今年の献血の実施は良かった。今年は心身に関する行事があり良かった。心身のバランスをコーディネートできる環境整備。体育的活動は全職員で動くことも多いため、計画案から決定までできるだけ早く提案し、説明が欲しい。スポーツ科学コースの在り方、指導を考えるべき。教育内容の見直し、各部活動で生徒の質を高める方策を検討。			
	生徒会	生徒会活動の充実	生徒会の役割、運営等を把握整理し、生徒会活動がより主体的かつ効果的になるよう充実を図る	3	生徒が主体となって、積極的に活動できた。生徒達が方向性を分かっているときがあった。諸計画を早めに作成し実施へ。	3.1
		生徒会組織の充実と委員会活動の活性化	生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図る	2.9	委員会担当の職員に情報をもっと発信すべき。生徒会内部の話し合いが更に必要。	2.8
		生徒会活動全体について成果と課題	ボランティア活動による「心を育む教育」の充実を更に発展できれば良い。生徒会の負担感が大きく課題。教員のフォロー、サポート体制の強化。生徒が主体となって、学校行事、生徒会活動を実施していた。更なる充実のために教師の適切な指導・支援が必要。活動に対する方向性を議論すべき段階にきている。生徒会担当の職員、執行部の会それぞれ持ち、打ち合わせを密にする必要がある。生徒会は担当の先生も生徒もとてもよく頑張っている。職員と生徒の関係づくりが大切。生徒会活動も計画的に時間内(SB)でやるべき。新役員はSB通学生が多いため、作業がなかなかかかどらない。来年の課題である。			
看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成する	実習や各授業において学生が意識を高め、達成感や課題解決学習に取り組む態度を育てる教育活動の充実を図る	3.3	国試に向かう意識高揚の授業展開に心掛けた。沢山学んでほしいと詰め込みすぎた。	3	
		国家試験全員合格へ向け、計画的、合理的学習の充実を確立する	3.4	完成度が上がっている。新国試出題基準を意識しやっていた。十分結果を出している。	3.3	
	看護専攻科全体について成果と課題	5年一貫の強みを生かす教育の構築を。膨大な教育内容と方法を整理して効果的学習支援ができるように努力しているが課題もある。就職指導においては専攻科1年次より就職担当教員を中心に保護者面談等を行いながら計画的に実施し、10月には2年生100%決定した。職員の結びつき、チームワークによってさらに伸びる。				
事務部	経理・庶務・会計の充実	各項目における経理・会計の正確かつ明確化を図る	3.1	一人ひとりの責任感の向上がわかる。正確さが重要。	2.8	
	安心安全な食堂運営	安心安全かつバランスのとれた食事の提供を図る	3	メニューの更なる充実を。カロリー計算などなされている。部活性への量の検討。もう少したんぱく質を。	3	
	安心安全なスクールバス運営	計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図る	2.9	危機管理の対応力強化の必要性。体制検討すべき。	2.7	
		的確かつ合理的なスクールバスの運行を行う	3	運行計画の明確化と効率化。体制検討すべき。	2.9	
	安心安全な寮運営	寮生の実態把握を的確に行い、点呼体制、寮生活における規律体制の確立と、より豊かな生活が営めるよう充実を図る	2.9	寮内全般、各部屋の整理整頓強化。寮生の実態把握を的確に。寮監も食事と一緒に。点呼チェック表作成している。寮整備を。夜の自主練習後の生徒管理に課題が。	2.9	
	事務部全体について成果と課題	お客様へもとても丁寧に対応されており、とても良い。寮の設備の早急な改善を。報連相の徹底。業務のローテーションと代替要員の育成強化。目標の明確化によるチェックの体制づくり。電話の対応、仕事の効率化を改善します。事務長のもとまとまってきた。「事務室は学校の顔である」という意識を持ち一人ひとりが笑顔で丁寧な対応に心掛ける雰囲気が出てきた。施設設備、SB老朽化等に伴い修理費用が増加している。「一人ひとりが経営者」の感覚を持ち、経費節減に努め、教育効果を高める予算編成、実行を行う。チェック体制の確立。さすまた、防犯カメラなど不審者対策をすべき。協力体制、チームワークの良さも構築されていると感じる。				

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	H 28
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立	生徒の進路希望や学力等の的確な把握と指導を行い、計画的、体系的な指導を行う	2.7	面接指導の見直し強化。各学年の年間スケジュールの確認をしたい。スタッフ不足。意識の向上を。計画的、体系的指導に課題が。	2.7
		計画的かつ充実した進学指導の実施	計画的、より効果的に生徒の学習意欲と学力の向上を図る授業、課外、希望塾の実施	2.5	希望塾の見直し。希望塾の内容が不明確。1年次からの指導を見直し。言葉づかい等から。学習意欲、学習向上は課題。	2.8
		計画的かつ充実した就職指導の実施	計画的、より効果的に生徒の就職活動ができる環境を整え、学力の向上とキャリアプランニング活動の充実を図る	2.5	進路指導部としての方針、計画が不徹底のため、3学年の方針が定まっていない。面接、小論文指導は担任指導徹底から。	2.9
		効果的な面接・小論文対策指導、公務員対策指導の確立	個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な指導を徹底する	2.3	効果的な新体制の導入を。一部の先生に任せきりになっていた。その場の対応が多い。小論文指導を全員で行うべき。今後の五体的充実が課題。	2.7
		進路指導部全体について成果と課題	進路決定後の指導の徹底強化と見直し。計画的・効果的に対策、指導を行った。計画性、方向性が不明確でまとまらない。部内の横の連携、特に3学年との連携を計画的に確認するべき。進路指導、進路決定教育の充実が必要。進路100%達成と特進コースの実績づくり。進路指導用の手引き、システムの共通理解と実践が必要。組織体として機能できずほとんどがトップダウン式の取組みになってしまった。担当者任せにしたところも。情報共有と計画的な指導に課題。特進3年が遅くまで勉強しているが、担当、責任の所在が不明確。			

	記念事業	評価	成果と反省と課題		
50周年 記念事業 について	創立記念 体育大会 5月12日	3.4	内容的には例年と変わらなかった。年度初めの大きな行事で意味がある活動であるため、職員による観察・指導をもっと改善すべき。入学間もない1年生のフォローを3年生が行って、よく頑張っていた。雨からの復旧開催で生徒職員一丸となった良い体育大会になった。生徒の成長を感じる体育大会になった。教職員・生徒が一体となった取り組みができた。全体的には生徒主体のよい体育大会であった。早朝のグランド整備から始まり大変だったが思い出に残る体育大会になった。熱中症予防対策が課題。大会前の活動が素晴らしかった。記念体育大会として目玉となる取組をもっと早く取り組むべき。ポスター等のPRが遅かった。全職員の協力を。大雨からの開催、多くの保護者の来場感動した。		
	創立記念式典 10月27日	3.4	職員はもちろん生徒がすごい。底力を感じた。感動した。準備は大変で慌ただしかったが、生徒たちがよく頑張って、団結力が高まり、愛校心が芽生えた素晴らしい式典であった。生徒も職員もたいへん疲れていたがとても良い式典であった。厳粛な中に明るさ、元氣、未来への希望があり感動した。協力体制の職員格差があった。オリジナルのミュージカルなどこの学校にもない本校らしさを披露できた。生徒の持っている力で質の高いものを創り上げた。忙しかったが無事終わることができ良かった。担当の仕事の質の差があった。式典会場の準備で慌てて準備するところがあり、事前の確認が大事。生徒の頑張りと良さを延ばすことが大切と感じた。職員間の温度差など課題もあるが校長先生を中心に成果が出てきている発表ができた。オリジナル公演、記念弁当など、学校全体、学科の取組みを生かした素晴らしい式典であった。負担感が大きかった。普段の学校生活への影響があったところは課題。指導面の職員の温度差課題。職員配置の配慮を。もう少し、時間短縮の方が良かったか、不安もあったが大成功だった。		
	創立記念祝賀会 10月27日	3.4	内容的に例年と同じで記念行事感が無かった。楽しく和やかな雰囲気、また頑張ろうという気になった。もっと参加者同士交流できればよかった。VTRがとても良かった。創立者の時間がもう少し欲しかった。様々な先生とコミュニケーションをとることができ良かった。DVD作成が良かった。50年の歴史を知ることができた。参加者を増やすよう努力すべきだった。色々と工夫されていてよかった。本校に長年勤務された先生方も招待してもよかったのでは。福岡先生に感謝。理事の方々交流が図れてよかった。PTA役員の方と交流できてよかった。取り組み、内容は問題なし。		
	創立記念学園祭 11月3日、4日	3.4	生徒会の負担を大きく感じた。チケット販売(当日券)について保護者から不満の声があった。進行が毎年よくなっている。来場者が多く学校全体で取り組んでいる様子があり良かった。段取りが悪かった。模擬店の腕章なし、食券販売の時間指定、調理科の前売り券等検討すべき。生徒会を中心に生徒が主体になって取り組むことができた。学年、学級で協力することができた。記念式典からの準備期間が足りないように感じた。生徒が疲れている感を受けた。そのような中でもあれだけのものをつくる生徒会がすごい。多くの方に参加していただき良かった。2、3年の予算は増えたが、全体のコンセプトが不明確。一般客も多く好評であった。生徒会の発案企画をもう少し吸い上げては。ビブリオバトル等新しい試みがあり良かった。内容検討、新しいものを。生徒の負担について検討の必要が。事前の職員間情報共有を		
	創立招待試合 11月12日	3.5	素晴らしい試合で良かった。両校に分かれての応援で全校生徒達の姿が一瞬懸命で良かった。費用はかかったが成果と魅力のある招待試合だった。たくさんの方に来ていただき有難かった。生徒の応援も素晴らしかった。野球部の配置に課題。スタンド後列生徒の指導が必要だった。生徒にとって貴重な経験になった。多くの市民に来て頂き、良かった。盛り上がったと思う計画段階、広報活動に課題が。具体的内容、日程等での変更があったり、戸惑うこともあったが、当日は大盛況であった。乗船活動に課題。地域からの関心盛り上がりを感じた。		
50周年 記念事業 全体的に	前年度から流れをつくり取り組んできたが、日常業務と並行しての作業ほどの部署においても労力は大変であった。職員間の連携でスムーズに行くものもあったが連携不足や、協力不足の部分もあった。良かった点、成果もかなりあったが、各自自分への評価を謙虚に行い、協同的姿勢の更なる構築を目指す必要がある。				

部会・係	事業内容	評価と成果	反省と課題
記念誌編集係	編集大綱作成、資料収集(各年度、各科歴史、写真、原稿等)学校史(学校沿革大綱)、祝詞、挨拶、寄稿文、卒業生原稿依頼、部活動記録、その他	3.4 卒業生の「リレー記事」が特に良かった。卒業生の原稿が印象に残りとても良かった。リレーメッセージはとても良い。素晴らしい記念誌ができた。OB,OGの原稿に感謝良い記念誌になった。	原稿依頼の回答なしがあった。取り組みが遅かった。記録としての機能が不十分であった。
広報係	学校新聞、式典パンフレット、原稿依頼、新聞広告、垂れ幕掲示、報道関係者連絡、ポスター、航空写真、その他	3.4 計画的になされてよかった。ドローの撮影、体育科で白線を引いての準備には驚きと感動があった。	結果できたが、仕事の振り方が課題。学校新聞に関してはもっと計画的に進めるべきであった。
式場係	記念式典計画(式場設営、式進行、座席表、掲示物、祝詞祝電、生徒代表挨拶指導、救護、盆栽、生花、紅白幕、吹奏楽指揮)他	3.5 細部にわたる検討、計画がよかった。盆栽を急遽変更し生花で飾ったが華やかで和んだ。業者の照明、音響で良いものができた。	座席変更が多く、生徒はリハまで不安だった。
来賓係	招待者決定、案内状作成発送、出席者名簿、リボン、受付接待、弁当配布、各種配布物準備、礼状作成発送、スリッパ、ビニール袋、控室設営、他	3.6 受付から案内まで心のこもった来賓対応ができていた。来賓の方からもとても感謝された。事前準備ができていたので当日はスムーズにできた。片付けも素晴らしかった。(生徒、職員)密な打ち合わせが良。	弁当を食事される様子の記録をもっと配置すべきであった。
昼食係	調理科生徒によるオリジナル弁当作成、昼食会場設営、接待等	3.6 生徒の頑張りにより、素晴らしい弁当ができてとても好評であった。田植えからの弁当作り意気込みと愛情を感じた。本校の教育活動を知っていただく機会になった。調理科の生徒が作成したというところに意味がある。とても良かった。来賓からとても好評だった。	もっとお祝い色がでた弁当だったらもっとよかった。
記念品係	記念品選定、注文(来賓、在校生、PTA等)記念事業封筒等	3.5 質が高く良い記念品であった。素晴らしいものができた。	
公演係	記念式典後記念公演(ミュージカル形式)	3.6 生徒がすごい。可能性を感じた。皆の力を一つにしてオリジナリティーの高いものができた。感動、素晴らしい一言。	公演係の職員の負担が大きかった。基本的な学校生活に影響しない範囲で全体的に考える必要がある。
駐車場係	駐車場計画、確保、設営、誘導、駐車場から受付までの誘導	3.7 駐車券の色分けで、明確にさばけていた。トラブルもなく、係の職員生徒の動きが良かった。	
記念学園祭	学園祭企画・準備・運営	3.3 中学生にも見てもらいたい内容で良かった。	ステージのつながりが事前打ち合わせでの確認がもっと必要であった。生徒への連絡、プリント配付、回収など悪かった。例年と同じであった。計画と動きが遅く、生徒の迷惑をかけた。
記念招待試合	招待試合企画・準備・運営 生徒移動、当日計画等	3.3 3000人近くの人に来場いただき生徒の姿を地域の方に見て頂く良い機会となった。	担当者間での打ち合わせが事前に行われているともっとよかった。準備段階に課題。広報、計画に課題。当初よりも多くの資金が必要になった。対戦が早く決まっていたが計画が遅く反省点。
記念祝賀会	記念祝賀会企画・準備・運営、案内状発送、受付、次第、司会等	3.4 記念DVDで皆が笑顔になることができ良かった。	全員参加してほしかった。
記念制服・バッグ等	制服・バッグ・スリッパ選定、方法検討、企画・提案・決定・注文他	3.5 とても素敵な制服に仕上がりに、満足いくものである。新制服になった来年が楽しみ。募集の一つの要素となった。	

創立50周年記念事業内容、部会、係について

4 生徒による評価総括表(○はい、●いいえ)

	今年度(H29年度)		昨年度(H28年度)		一昨年度(H27年度)	
	○	●	○	●	○	●
1 城北高校での学校生活は楽しいですか。	88%	12%	84%	16%	87%	13%
2 城北高校に入学してよかったですか。	84%	16%	79%	21%	87%	13%
3 先生達は生徒のために頑張っていますか。	84%	16%	81%	19%	85%	15%
4 高校で何か頑張っていることはありますか。	87%	13%	82%	18%	85%	15%
5 今高校生活での目標を持っていますか。	86%	14%	78%	22%	83%	17%
6 将来の目標を持っていますか。	83%	17%	82%	18%	84%	16%
7 あなたは「心の掃除」にきちんと取り組んでいますか。	82%	18%	81%	19%	81%	19%
8 あなたは授業の「予習・復習」をやっていますか。	31%	69%	23%	77%	25%	75%

5 保護者による評価総括表

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項目	H29年度 評価 (%)	H28年度 評価 (%)
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4(31.1) 3(62.7) 2(6.2) 1(0.0)	4(30.9) 3(59.9) 2(9.0) 1(0.2)
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4(44.5) 3(49.7) 2(5.0) 1(0.8)	4(40.9) 3(50.8) 2(7.4) 1(0.9)
3	城北高校の授業は、生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している。	4(29.9) 3(60.4) 2(9.1) 1(0.6)	4(26.3) 3(61.5) 2(11.6) 1(0.5)
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4(40.9) 3(51.9) 2(6.6) 1(0.6)	4(39.8) 3(51.6) 2(8.2) 1(0.4)
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4(48.7) 3(45.0) 2(5.5) 1(0.8)	4(46.7) 3(46.5) 2(6.0) 1(0.7)
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4(43.8) 3(46.4) 2(8.7) 1(1.0)	4(45.3) 3(45.3) 2(8.0) 1(1.3)
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4(60.2) 3(36.8) 2(3.0) 1(0.0)	4(61.1) 3(35.5) 2(2.9) 1(0.5)
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4(53.6) 3(41.3) 2(5.0) 1(0.2)	4(52.8) 3(41.8) 2(5.1) 1(0.4)
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4(38.4) 3(56.5) 2(5.0) 1(0.2)	4(36.3) 3(56.6) 2(6.2) 1(0.9)
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4(37.3) 3(54.6) 2(7.7) 1(0.4)	4(34.7) 3(57.5) 2(7.3) 1(0.5)
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4(53.8) 3(41.0) 2(4.9) 1(0.2)	4(57.1) 3(38.5) 2(4.2) 1(0.2)
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4(45.3) 3(45.9) 2(8.6) 1(0.2)	4(43.9) 3(48.3) 2(6.7) 1(1.1)
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4(41.1) 3(46.6) 2(11.1) 1(1.2)	4(39.4) 3(48.9) 2(10.6) 1(1.1)
14	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4(42.8) 3(52.0) 2(4.2) 1(1.0)	4(41.8) 3(50.9) 2(6.9) 1(0.4)
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4(60.4) 3(33.3) 2(5.0) 1(1.4)	4(63.9) 3(30.1) 2(5.3) 1(0.7)

本校やアンケートに対する保護者による御意見や感想

(感謝のことばだけの記載は除く)

- (1)教育活動、特に生徒指導について、いつも感心感謝しています。(1年)
- (2)県外のため、学校の様子などためにインターネットなど載せてほしい。(1年)
- (3)子どもたちは成長していると思う。もっと向上心を持ってほしい。(1年)
- (4)規律(あいさつ、時間厳守等)の指導は社会に出てからも役に立つことなので今後も続けてほしい。(1年)
- (5)安心して高校生活が送れており、とても良いと思います。(1年)
- (6)子どもはあまり学校の様子を話してくれないが、先生から細やかな連絡を頂き感謝している。(1年)
- (7)城北高校に入学させて良かったと親子とも思っている。先生たちを見てわかりました。それ以上に校長先生が素晴らしい。パワーをもらっている。(1年)
- (8)先生方の温かく熱心な教育を十分に受けています。(1年)
- (9)校長先生の一人歩きが目立っている。(1年)
- (10)すべてにおいてツメの甘さを感じる。入学式で何組の何番かもわからないまま始まり入場時も紹介がない。スクールバスのコース毎のバス停を書かれた地図もない。学校行事に追われて学力向上が図れない。学校の先生方は学校の体裁より先ず生徒のことを思えの精神を持ってほしい。(1年)
- (11)先生との関わりが小・中学校ほどではないので評価が難しい。(1年)
- (12)わからないところが多かったので子どもの意見を参考にした。(1年)
- (13)入学式・文化祭等での保護者の私語が多い。(1年)
- (14)判断できない項目がある。(1年)
- (15)教育重点目標(3)についてどのような事が可能か保護者にも知らせてほしい。(1年)
- (16)城北高校の看護科への入学は本当に良い決断だったと思う。温かい御指導子どもにも伝わっています。(1年)
- (17)子どもからの情報がなく答えようがなかった。(2年)
- (18)寮が古く、清潔感がない。故障したところはすぐ対応してほしい。寮にも静かに勉強ができる学習部屋が欲しい。模擬テストをもっとしてほしい。(2年)
- (19)食育、体をつくる食を考えてほしい。(2年)
- (20)教科によってすばらしいもの、そうでないもの差がある。(2年)
- (21)満足と感謝をしているが、トラブル等あった時には忙しいと思うが時間をとってほしい。(2年)
- (22)生徒の気持ちになって考えてくれる先生ばかりで感謝している。(2年)
- (23)子どもは学校が楽しく学習面でも頑張っている。(2年)
- (24)生徒会がみんなの意見を取りまとめる所であるだけで躍進が見られない。(2年)
- (25)子どもが城北高校に在籍していることは誇りで、校長や諸先生方の御指導はもっと宣伝すべきである。(2年)
- (26)生徒個人の人格を尊重された教育をなされていることに感謝します。それがあったからこそ、これまで学校生活を送れたのだと思う。(3年)
- (27)子ども一人ひとりの気持ちを尊重し親身になって相談にのって下さる先生方に感謝します。入学させて本当に良かった。(3年)
- (28)子どもも親も先生との信頼関係を築いて3年間通ってよかったと心から思っている。(3年)

- (29)先生が授業以外の話をされ、授業が進まないことが多々あるようです。(3年)
- (30)校内の皆さんの挨拶が元気でいつも素晴らしく思う。気持ちがよく、こちらも温かくうれしいです。(3年)
- (31)社会福祉科は休みも実習が多く、先生方のアドバイスや手助けが無かったら、とても成長することができなかった3年間だったと思う。心から感謝している。(3年)
- (32)学校の教育方針を力強く周りに発信していると思う。何よりも子どもたちが楽しく学校に行っている。(3年)
- (33)保護者会の日時はどうして平日の夜なのですか。遠方の保護者にとってはかなりの負担になります。参加するのも悩みの種になっている。(3年)
- (34)通学時のバスが遅れる場合バスを待っている生徒に連絡が入るようにしてほしい。(専1)
- (35)校長先生をはじめ先生方が子どもたちのために熱心になって下さって本当にありがたい。5年間教育活動や保護者会に参加できず皆様の協力や努力に甘えさせて頂き通しだったことが心苦しく思います。残りわずかの学生生活ですが、本人も含め私も大切に過ごしたい。(専2)

平成 29 年度 学校関係者評価委員会 (H29 5 月、H30 3 月実施)

(1) 第 1 回学校関係者評価委員会

日 時 平成 29 年度 5 月 30 日 (火) 13:30~14:40

場 所 役員室

出席者 本校評議員(12 名) 欠席(3 名)

議 事

- ①学校の現況について
- ②昨年度(平成 28 年度)の学校評価の総括について
- ②今年度(平成 29 年度)の教育重点目標について
- ③意見交換

本校は今年 50 周年目を迎える節目の年で、今後へ向けた教育活動の更なる充実と生徒育成のための教育目標、更には昨年度の学校評価をもとに今年度の教育重点目標を示し、それぞれの取り組み状況を説明、報告した。学校関係者評価委員から出た意見は次のとおりである。

(1) 先日の体育大会は明け方まで雨が降っていてとてもできる状況ではないと思っていたが立派に会場を作り上げ、時間通りに行われたことには驚きとともにとても感心した。そして体育大会のどの種目・内容も生徒たちがいきいきと一生懸命に取り組んでいる姿にとっても感動した。今の城北高校の勢いを感じた。

(2) 昨年度は特進棟建設とともに、体育館の耐震等行い、施設面でとても充実してきた。

(3) 調理科の授業や実習等様々な工夫がされているが、もう少し備品の充実が必要なのではないかと思う。また、指導力向上のための計画が学校の方からの説明にもあったが、そのような取り組みはとても良いことであると思う。自分も協力できるところは協力したい。

(4) 地域からの信頼が上がってきている。生徒の地域でのあいさつがとても良い。

(5) 子どもが在籍しているが喜んで楽しいと通っている。

(6) 学校の先生方の姿が校長先生を中心にとってもいきいきとされている。生徒と達の活躍も様々なところで見ることができて素晴らしいと思う。

(7) 松浦記念図書館建設予定に伴い蔵書等の寄付を考えていきたいと思っている。

6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価【評議員(8人)PTA役員(11人)】

4: そう思う 3: まあまあそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

1 学校経営全般について

項 目	評 価 (%)
(1)学校の経営方針や本年度の努力目標は、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	4 (64%) 3 (36%) 2 (0%) 1 (0%)
(2)学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	4 (46%) 3 (36%) 2 (18%) 1 (0%)
(3)学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	4 (36%) 3 (55%) 2 (9%) 1 (0%)
(4)学校は、各学科コースの特色を生かした教育課程と、その教育指導実践を行なっている。	4 (64%) 3 (36%) 2 (0%) 1 (0%)

2 自己評価について

(1)アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	4 (45%) 3 (55%) 2 (0%) 1 (0%)
(2)アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	4 (36%) 3 (64%) 2 (0%) 1 (0%)
(3)学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	4 (45%) 3 (46%) 2 (9%) 1 (0%)

(4)評価項目の大項目について

①『学校経営』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (45%) 3 (55%) 2 (0%) 1 (0%)
②『学力向上』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (18%) 3 (82%) 2 (0%) 1 (0%)
③『生徒指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (27%) 3 (73%) 2 (0%) 1 (0%)
④『進路指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (36%) 3 (55%) 2 (9%) 1 (0%)
⑤『人権教育の推進』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (36%) 3 (64%) 2 (0%) 1 (0%)
⑥『特別活動』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (27%) 3 (73%) 2 (0%) 1 (0%)

①～⑥における御意見

自己評価、自己分析は良くされていると感じました。点数について昨年と同じように思われましたので1項目は4と言い切れるようやっていってもよいのではと思います。多忙で子どもたちとの時間が足りないのであれば思い切って時間の確保をしてみてもどうかと思います。生徒指導をしっかりとやっておられるため相互に人として尊重し合う態度が育成されいじめのない明るい学校になっていると思われま。

⑦『各部及び専攻科』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (45%) 3 (55%) 2 (0%) 1 (0%)
<p>⑦における御意見</p> <p>学習に関してはあまりわからないが、いろいろと考えて進めていただいていると感じている。先生方の責任もたいへんなものだと思うが、子どもたちを通して結果を見たいと思う。「未来の自分」をつくるため自己発見、自己探求、自己実現と進路目標達成のため基礎学力を身につけ、授業をすすめておられると実感している。</p>	
⑧『50周年記念事業』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (64%) 3 (36%) 2 (0%) 1 (0%)
<p>⑧における御意見</p> <p>多忙な中でのいろいろな企画運営大変だったと思うが、全体的にとっても良かった。考えただけでも人が足りなかったであろうと思うので、保護者も早い段階から手伝ってあげたら良かったと思った。先生方におかれましては通常行の傍ら50周年事業に携わられ大変苦労されたと思う。城北に期待されている地域の方々に対してもさらに歴史をつくるため頑張ってくださいと思う。</p>	
⑨『創立50周年記念事業内容、部会、係』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4 (45%) 3 (55%) 2 (0%) 1 (0%)
<p>⑨における御意見</p> <p>スムーズに運営できているように感じた。各担当で事前打ち合わせがうまくいっていたのと感じた。校内で生徒すれ違うたびにあいさつをしてくれてとても気持ちよく式典に参加できた。質が高い記念事業だった。</p>	

3 その他御意見

すべては生徒だと思う。自己評価、分析はとてもよく出来ている。入学希望者数が結果ではないだろうか。生徒の結果は、学年、科ごとにも見てみたい。50周年記念祝賀会でのDVDのように、学校の歴史が分かるようなものを生徒・保護者へ毎年見てもらうのもよいのではないか。多忙なだけの1年が続く先生がおられないとよいのだが。創立50周年の節目に子どもが在籍しており、親子で行事に参加できたことをうれしく思う。PTA活動や学校行事等で先生方が懸命に学校や生徒の向上のために毎日努力されている事もわかった。保護者アンケート「15入学させて良かった」が60.4%という事は城北高校の教育が素晴らしいという事であり先生方が一生懸命に取り組んでいる証だと思う。城北高校は総合的に大変良くなった。竹原校長を中心に教職員が一丸となって人に愛され親しまれる学校づくりに努力されていますことにエールを送ります。また、創立50周年記念事業は大変素晴らしい記念事業でした。文武両道を頑張っている姿を見ることができた。体育面が一般的に目を引きますが、祝賀会での映像づくりは立派でした。素晴らしい芸術関係の先生方が存在されることを認識しました。今後OB教職員会を再構築していただき、100年に向けての大同窓会づくりにも邁進していただきたい。

7、総合評価

生徒による評価より、

「1 城北高校での生活は楽しいですか」の項目における88%という数字はアンケートをとり出してから5年間で最高の数値となった。要因は様々なものが考えられるが、「4 高校で何か頑張っていることはありますか。」の数値もここ5年間で最高の数値を示しているように、本校の教育活動における生徒自身の目標の明確化や、やるべきことをしっかりと自覚、認識している生徒が増えてきている表れである（自己肯定感の高揚）と考える。また、生徒を中心とした学校全体が作り出している雰囲気もあるように思う。本校での高校生活を楽しんでいる生徒が増えているというのは、とても嬉しいことである。「2 城北高校に入学してよかったですか」「3 先生たちは生徒のために頑張っていますか」の評価も昨年と比較すると若干上がっており、昨年の課題であった「5 今目標を持っていますか」の数値も過去最高の数値となった。今取り組んでいる学習や学校生活活動の中に自分の居場所、自分のこれからの道しるべ、夢や希望等を示唆していく教職員の関わりや教育活動の創造が実を結びつつあるのではないとも考える。例年の課題である学習に対する取り組み、学習習慣の確立へ向けての基本となる「8 予習・復習」への取り組みがようやくではあるが徐々に改善してきている数値になった。30%を超えたのも過去初めてのことであり、ただやはり全体的にはまだまだ低く、クラス間、学科間格差が大きいのも実態であり、個々の生徒がいきいきと前向きに何事にも取り組む、「輝く生徒の育成」を目指し、継続して、更に改善していくために取り組んでいかなければならない。教職員は今回のアンケート結果を真摯に受け止め、まずは「授業を第一」に、「生徒や保護者との関わりを大切」に、「生徒の可能性を引き出す」「生徒のやる気を育てる」「自分のことより人のことを思う生徒を育てる」教育の実践を再確認しなければならない。

保護者による評価より、

昨年度から保護者へ向けたアンケートを実施している。本校の教育活動の展開の中で保護者との連携や保護者からの協力は不可欠なものであり、重要なものである。本校が掲げる教育目標や重点目標への実践が保護者目線でどのように映っているのか、昨年度も全体的に、9割の保護者に「4 そう思う」「3 どちらかと言えばそう思う」と御理解を頂いている結果にはなっていたが、あえて「2 あまりそう思わない」「1 まったくそう思わない」と答えていただいた数値に目を向け、課題を明確に取り組んできた。昨年度は「思わない」と1割を超えていた「3 城北高校の授業は生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している」という項目に着目した。12,1%と一番高い数値になっており、今年度当初の目標の一つに「わかる授業の実践」と「生徒自ら取り組む授業」を挙げ取り組んだ結果、「思わない」の数値が9,7%と減少し、「思う」の評価が、9割を超える数値（90,3%）となったことは評価できる。ただ、全体的な項目ごとの評価と比べるとまだ低い評価（15項目中14位）であり、引き続き全職員が真摯に受け止め、課題とし更なる改善を目指していかねばならない。生徒が意識的かつ意欲的に学習に取り組む授業、生徒の可能性、能力を引き出し向上させる授業、学力を上げ、成績向上へつながる授業の創造へ向け、更に研究と自己研鑽を積んでいきたい。個人の授業力、指導力の向上と組織としての個々の連携、組織としての力を上げるため、授業研究会、毎時の授業における具体的実践、教師間における学び、研修等の実施など更に改善を図りたい。

また、昨年度のもう一つの大きな課題であった「13 城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細やかに行っている」という項目についてはほぼ改善がなされていない結果となった。昨年の「思わない」の結果が11,7%であったが今年度は12,3%と更に数値も上がり改悪の結果

となった。学校教育活動や、行事、クラス状況等、文書等書面(学校新聞、クラス通信、各種文書等)で情報提供や連絡を行っているが、保護者にさらにわかりやすく情報提供できるよう課題を明確に改善しなければならない。全体的数値が上がった(改悪した)が、やはりクラス間や学科間格差がある結果となっており、それぞれの担当(担任、教科、学科)で意識するとともに組織としての改善を図りたい。また、再度、基本となる日ごろからの保護者との連携・改善こそがその根本にあることを確認し、検討・改善していきたい。

また、昨年度は「6 城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している」という項目にも目を向け、改善を図ってきたが、今年度は、「15 城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている」という項目も合わせて着目したい。「入学させて良かった」と思っている回答が 60,4%と一番高い数値になっていること、また、どちらかといえぬ数値を合わせると 93,7%と高い数値になっていることはとても有難くうれしいことであるが、「思わない」数値が 6,4%でその中でも「全く思わない」数値が 1,4%で項目の中で一番高い数値になっている事は重要課題とし、改善する必要がある。また、今年のアンケートでは昨年以上に保護者から御意見をたくさん頂くことができた。大多数が感謝のことばであったが、厳しい御意見があったのも事実であり、真摯に受け止めて改善を図りたい。「子どもを育てる思い」は保護者も本校職員も同じであり、相互の理解、協力は必要不可欠なものである。このような思いをさせている保護者がいるという現状を受け止め、日頃からの生徒・保護者との関わりがこの結果の根本にあるという認識のもと、現状の課題を明らかにしながら改善していく必要がある。愛と指導力と感性で生徒との関係を創り上げ、保護者の理解と連携を創り上げることを職員全員で再度確認し、「満足させる教育」の実践を確立していきたい。今回の評価すべてを職員個人の課題とし、また、組織の課題としてしっかりと向き合い、改善していきたい。

学校関係者評価より、

昨年度末と今年度当初に平成 28 年度の学校評価を基に検討していただき、50 周年を迎える今年度へ向けた方向性の確認や御意見を頂いた中で、今年度の本校の教育活動等について学校評価(自己評価、生徒による評価、保護者による評価等)について評価をしていただいた。自己評価については「自己評価、分析は良くされていると感じた」とことばを頂いているとおり、各項目において、ほぼ「そう思う、まあまあそう思う」の評価で 100%を頂くことができた。委員の方々も本校の教育活動や指導方針、行事等について多大な期待と応援を頂いており、数値的な評価については自己評価における課題等も明確化され、改善へ向けた取り組みがなされているように感じることができる。ただ、「思う」の評価の中で、「3 まあまあそう思う」の評価を「4 そう思う」の評価へと引き上げることが今後の課題となる。大項目においては自己評価の結果がそのまま、委員の方の評価につながっている傾向にあり、「4 そう思う」の評価の低数値の項目についての改善が必要な結果が内外の評価の中から伺える。特に「学力向上」「生徒指導」「2 あまりそう思わない」の数値が 9%の「進路指導」については、自己評価の課題とともに、関係者評価の御意見も改善への道筋としていきたい。ただ、評価委員の方々からの御意見は本校職員にとって、とてもやりがいと意欲の向上に結び付く御意見が多く、期待の高さを感じることができる。故にこうした御意見を真摯に受け止め、50 周年の節目を今後の更なる飛躍のきっかけとし、職員一同一丸となり精進していきたい。本年度の教育重点目標の一つである 50 周年事業と行事の充実については、それぞれに高い評価を頂くことができ、当初の目標であった 50 周年を節目に 100 年へ向け更なる飛躍の年にするという「翔～今、ここから～」が実践できた実り多き年、年度であったと思われる。

8. 総合評価、次年度へ向けて

本校の建学の精神である『人間をつくる』を教育の柱におき、4つの本年度の教育重点目標を立て、生徒、保護者を満足させる教育活動、内容、行事等の検討を行ない、今年度の目標達成を目指し実践してきた。本年度は、特に学期の始めと終わりに職員研修を入れ、その時、その時点での課題や改善点を共有し、改善すべく実践へとつないできた。今年度の自己評価は、学期における研修等で課題を明確にし取り組んできたため評価の数値としては若干上がる傾向にあるとは思われたが、若干の増減はあったものの昨年とあまり変わらない自己評価になった。しかし、「進路指導」等、明確に表れてきているところを中心に来年へ向けた具体的改善策を図らなければならない。職員一人ひとりの課題における検討事項の明確化、実践意欲は高く、その結果が、成果と課題がより明確に評価される結果となったともいえる。4段階の評価で2,5以下の項目については、組織として、個人としてそれぞれの課題を明確に、次年度へ向け改善検討を図りたい。教育環境等の整備については、昨年度の学校評価の中でも課題とされていた急務であった寮の施設改修工事が現在行われている。男子寮については入浴室、トイレ等水回りを中心に大々的に改修工事が行われており、女子寮については次年度にわたり耐震化工事、全面改修工事を予定している。スクールバスも大型車を1台購入し、計画的に車の老朽化の改善を図っていく方向である。学校教育における大きな課題は「教育の質の向上」と「生徒の意識・意欲向上を図る『わかる授業』への取り組み」は再度全ての教職員が常に意識し、重要課題として継続しなければならない。指導が、生徒への自信、結果・実績として表れるような具体的実践を検討し組織として行なうことが必要となる。各校務分掌においても課題が昨年以上に明確になった。生徒による評価、保護者による評価についても結果をしっかりと受け止め今後の教育活動へ生かし、総括にあるように検討改善していきたい。また、学校関係者評価についても今年度も幅を広げて評価していただいた。自己評価等をもとに、生徒、保護者にもアンケートを実施し、それぞれの立場で、本校の教育評価について真剣に評価していただき、更に次年度へ向けた課題が明らかになった。今年度の学校評価のもと次年度へ向けては、特に次の項目について改善を図っていききたい。

- (1) 生活指導を基盤に「自分のことより先ず人のことを思え」城北スピリッツの育成、「心を磨き育てる教育」の確立　心を磨き育てる具体的教育活動の検討と実践。
- (2) 『わかる授業』と『生徒が自ら学びの中に楽しさを見つけ得る授業』の取り組み
アクティブラーニングと、ポートフォリオ教育の研究と実践。
- (3) 進路実現へ向けた計画的、充実した指導の確立
組織を見直し、組織的・計画的に目標達成へ向けた指導。個々に応じた進路指導の取り組み強化を図る。プレゼン力、小論文語学力、面接における自己表現力の向上。
- (4) 学校施設設備の更なる充実
寮、スクールバスの老朽化における問題、学校施設における課題を今後も計画的に行っていく。